

世界の観光客は奈良で何を買う？

地域別に見るお土産選び

きっかけ

私の家の近所にある奈良公園には毎日たくさんの外国人観光客が訪れています。先日奈良公園内のお土産屋さんに行った時、外国人観光客が「お土産を選んでいる様子を見て、どんな物を買っているのか気になりました。そこで実際にこの国や地域から来て何を買ったかを聞いて地域によるお土産選びの違いを統計で表してみようと思いました。

調査場所：奈良公園・東大寺門前の奈良の特産品やお土産を幅広く取り扱うお店

調査日時：2026年 8月7日(金)、9日(日)、10日(月) いずれの日も13時～17時

調査方法

お店の許可を得て、レジ横で買入された商品を写真撮影し、記録した。外国人のお客さんには英語でこの国から訪れたかを質問し、国別に記録した。

1人が同じ商品を複数購入した場合は1件として集計し、複数種類を買入した場合はそれぞれ1件として集計した。ペットボトルなどの飲み物は除外した。

1回の会話を1件とした。(グループの場合も)

お店の商品を種類別の仕入れの多いものとして15項目に分類し、集計結果を元にして購入率と購入割合を地域別に求めた。

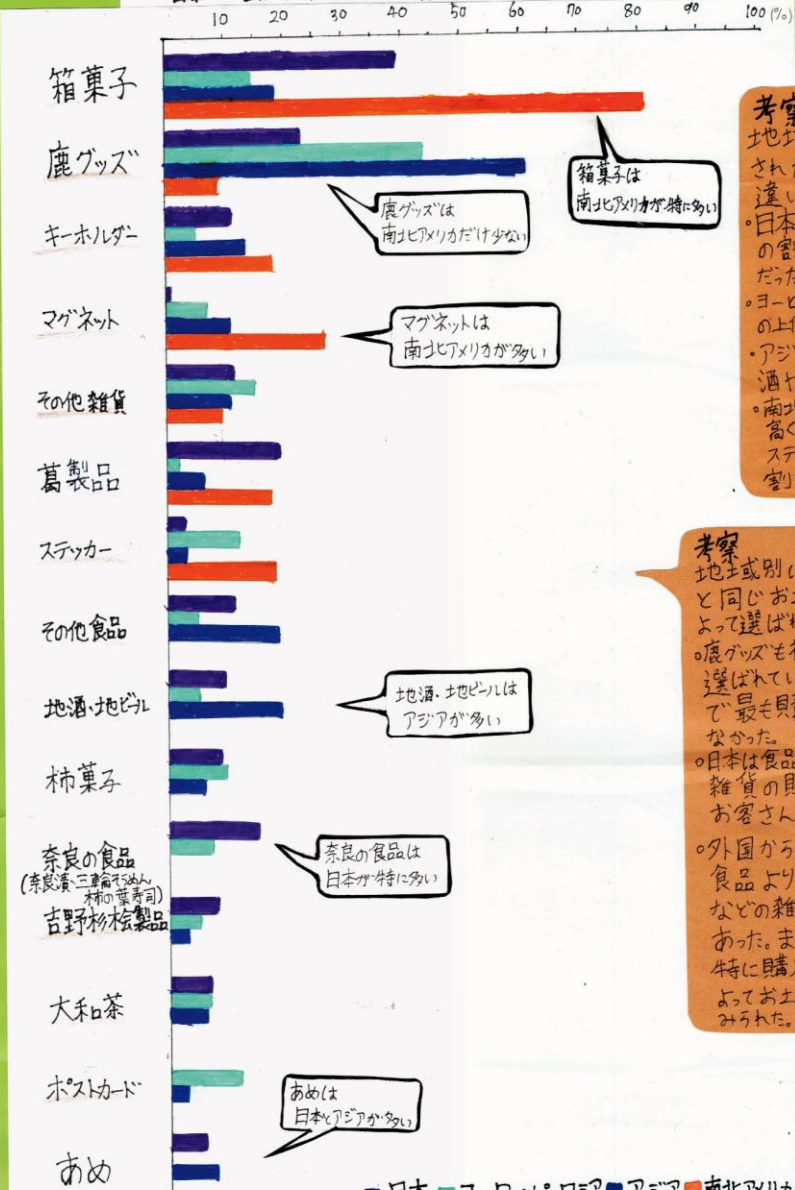
予想

国や地域に関係なく奈良らしい名産品やお土産が多く選ばれると予想した。特に奈良公園の鹿は観光客に人気があるため「鹿グッズ」が多く選ばれると予想した。

外国からの観光客は持ち運びがしやすい小さい雑貨が多く選ばれると予想した。

地域別に見るお土産の購入率

ー日本・ヨーロッパ・アジア・南北アメリカの4つの地域を比較ー



分類について

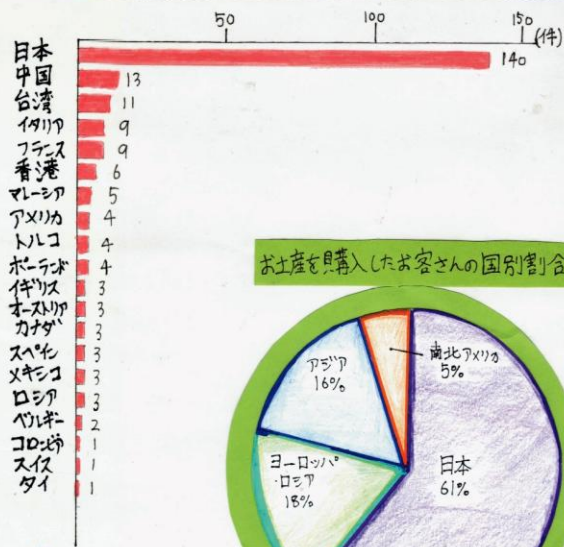
鹿グッズ：鹿のぬいぐるみ、鹿ポーチ、鹿スワット、鹿カチューシャなど
キーホルダーやマグネットや筆記用具は鹿のデザインや柄のものは鹿グッズに含まれた。箱菓子の内鹿のデザインや柄のものは鹿グッズとしない。

その他雑貨：奈良県産のうさぎ、つた、算、コスメアワセサリー、和雑貨、漬物など

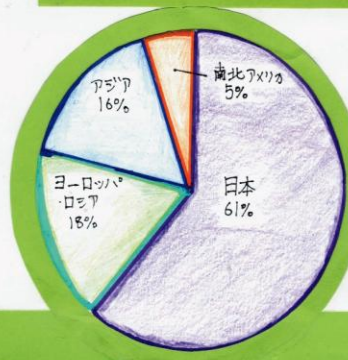
葛製品：葛粉、葛湯、葛七かり、葛菓子

その他食品：奈良県産のはちまきなどの調味料、こんにゃく、菓子類

お土産を購入したお客さんの国別比較



お土産を購入したお客さんの国別割合

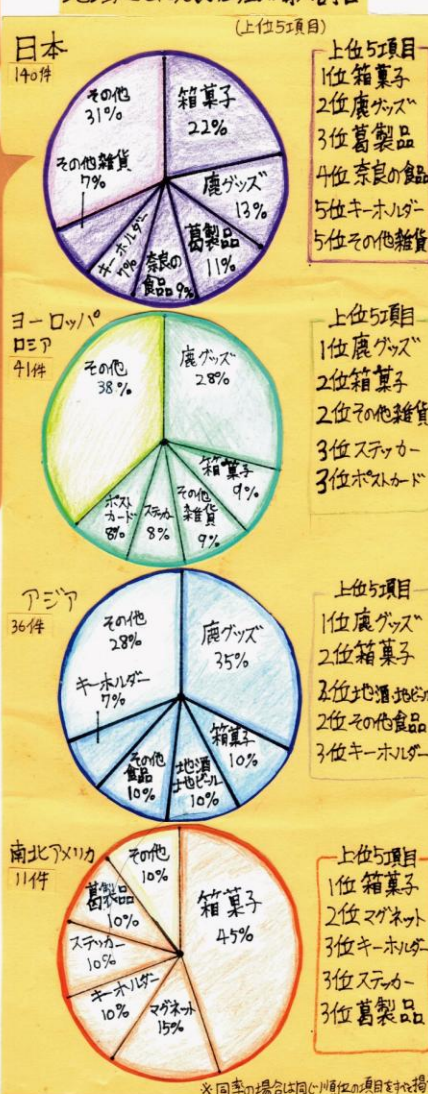


考察

お土産を購入したお客さんは日本人が特に多かった。

一方で、外国からは194国と幅広い国から訪れており、奈良にはさまざまな国からの観光客が来ていることがわかった。

地域ごとに見るお土産の購入割合



考察

地域ごとに見ると買入されたお土産のうちけにも違いが見られた。

・日本は葛製品と奈良の食品の割合が高いのが特徴的だった。

・ヨーロッパ・ロシアは箱菓子以外の上位を雑貨が占めていた。

・アジアは他の地域と比べて酒や食品が目立っていた。

・南北アメリカは箱菓子の割合が高く次にマグネット・キーホルダー・ステッカーなどの小さい雑貨の割合が高かった。

考察

地域別に見る購入率を比べると同じお土産でも地域によって選ばれ方が違っていた。

・鹿グッズも複数の地域で選ばれていたがすべての地域で最も購入率が高いわけではなかった。

・日本は食品の購入率が高く、雑貨の購入率は外国から来たお客さんより低かった。

・外国から来たお客さんには食品よりも鹿グッズやマグネットなどの雑貨が選ばれる傾向にあった。また箱菓子はアメリカで特に購入率が高く地域によってお土産の選び方の違いが見られた。

まとめと感想

今回の調査から奈良のお土産選びには地域による違いがあることがわかった。調査前はどの地域でも奈良の名産品や鹿グッズが多く選ばれると予想していた。しかし実際には奈良の名産品は日本人のお客さんには比較的よく選ばれていたが外国のお客さんは少なかった。鹿グッズは全体で多く選ばれていたが地域によってあまり選ばれていなかった。外国のお客さんは小さい雑貨の購入が多かったと予想したがヨーロッパや南北アメリカで特にその傾向がみられた。英語の「souvenir」はお土産というより「記念品」という意味合いが強い。持ち帰りやすさだけでなく、自分や家族のための旅行の記念として購入する傾向があることも関係しているのではないかと考えた。一方で、箱菓子や漬物などの食品も多く選ばれており、日本らしい食品を持ち帰りたいというニーズがあることがわかった。外国から来たお客さんの購入率が低かった商品は持ち帰りやすさに関係している可能性があるが商品の良さや奈良とのつながり、お土産としての価値がわかっていないか、あるいはより興味を持ってもらえるのではないかと考えた。